

## わたしはひろがる

岸 武雄

わたしは小さいとき  
おやつのお菓子が弟より大きくないとおこった  
じだんだふんで泣いたこともある

わたしが世界のすべてであった  
わたしが世界のすべてであった

やがてわたしは、弟もわたしと同じように  
大きいお菓子をほしがっていることが、わかってきた  
わたしはけんかしながらも  
同じように分けることをおぼえた  
ときには、弟があんまりうまそうに食べるので  
自分のぶんも分けてやった  
弟といっしょにお菓子を食べて  
お菓子の分量はへったが、なんとなく楽しい

こうして、わたしの中へ弟がはいつてきた  
こうして、わたしの中へ弟がはいつてきた

おかあさんがどんなに忙しそうに働いていても  
わたしは、平気だった  
おかあさんは、ああいうものだと考えていた  
やがてわたしは、「おかあちゃん、わたしも手伝おうか」  
と、言えるようになった  
おかあちゃんと仕事をすると  
なんとなく楽しい

こうして、わたしの中へおかあさんがはいつてきた  
こうして、わたしの中へおかあさんがはいつてきた

わたしは勉強するとき  
テストのことがいつも気になった  
どんなに仲のよい遊び友達も  
テストになると、かたきのように思えた  
あの子、まちがえてくれないかなあ、と  
ひそかに心の中で思ったこともある

テストが、わたしの勉強のすべてであった  
テストが、わたしの勉強のすべてであった

やがて、わたしは、小さいグループで  
教え合ったり助け合ったりして、勉強することをおぼえた  
こうして勉強を続けていると  
わかっているつもりの問題も、友達から質問されると

何と答えてよいのかわからぬことが、たくさん出てきた  
今までできないと思っていた友達が  
だんだんえらく思えてきた

こうして、わたしの中へ友達がはいつてきた  
遊び友達ばかりでなく、勉強の友達がはいつてきた

養護の子がへんなことをいうと  
わたしはよく声を上げて笑った  
わたしとは生まれのちがう  
あわれな子だと考えていた  
でも、遊んでやらねば、と思って  
がまんしてつき合っていた

しかし、このごろ養護の子はわたしを見ると  
「おはよう」といって明るくとびこんでくる  
するとわたしの心はつぼみのようにふくらんでくる  
とても、あんな素直な子には、かなわない

こうして、わたしの中へ養護の子がはいつてきた  
こうして、わたしの中へ養護の子がはいつてきた

わたしは理科の勉強をしながら  
大きくなったらすばらしい発明や発見をして  
お金や名誉で身をかざろうと考えていた

しかし、先生に科学の歴史のお話を聞いてから  
わたしの考えは、だいぶん変わってきた  
つまり、どんなにすばらしい発明や発見をしても  
仲間のしあわせにならねば  
なんにもならないと考えるようになった

かのノーベル博士が  
自分の発明したダイナマイトが  
戦争のために使われるのを悲しんで  
人類の平和と文化に尽くした人々におくる  
ノーベル賞をつくった気持ちが  
少しわかったような気がする

こうして、わたしの中へほんとうの勉強のめあてが  
はいつてきた  
こうして、わたしの中へほんとうの勉強のめあてが  
はいつてきた

わたしは社会科を勉強しながら  
数字やグラフを一生けんめい暗記した  
日本が生産力で世界第何位と聞くと

ただそれだけで、むねを張って喜んでいた  
やがて、こうした数字やグラフの背後には  
ひたいに汗して働く人々のいることを考えるようになった  
こういう人々がすべてしあわせにならねば  
日本の国はいばれないと思うようになった

こうして、わたしの中へ愛国心がはいつてきた  
こうして、わたしの中へ愛国心がはいつてきた

わたしはベトナムの悲しい写真を見ても  
アフリカのあわれな黒人の話をきいても  
遠い国のできごとのように思って、平気だった  
でも、このごろ  
ベトナムも黒人も、わたしのなかまのように考える  
ベトナムの写真をみたり、黒人の話を聞くと  
心がうずき、胸がいたむ

こうして、わたしの中へベトナムや黒人がはいつてきた  
こうして、わたしの中へベトナムや黒人がはいつてきた

ああ、わたしはたったひとりなのに  
胸の中のわたしは  
弟もおかあさんも養護の子も、ベトナムまで包んで  
ひろがる、ひろがる・・・

### またまた突然ですが、今週はノーベル賞にまつわる特集を⑤

最終回

◆かの有名なノーベルは、自分の開発した火薬（ダイナマイトの発明）によってたくさんの財産を手にしたけれど、自分の発明した火薬などが戦争に使われることをとても悲しんだ。だから、ノーベルは、自分のお金（財産）を人類のために貢献した人におくってほしいという内容の遺言を残し、その思いを受けてノーベル賞が生まれた。

◆世界には、広がれない子供たちが何万、何十万といる。「学べることは幸せなんだ！」「勉強は君たちの権利なんだ！！」と僕が言っても、ピンと来ないだろう。僕自身も中学校時代はそうだったし、今でも苦手な英語を学び直そうと思えばできるのにしないている。十分環境はととのっているのに・・・

◆だから偉そうなことは、あまり言えないが「学ばなければ心が広がらない」ことも確かなように思う。「様々な知識や知恵は、人生を豊か（お金という意味だけでなく）にしてくれる」とも感じる。

義務教育の「学び」が、点数だけでなく  
君の心を広げますように・・・

